

英語科学習指導案

第6学

【単元】"My Junior High School Life"～中学校生活の抱負を伝えよう～

考察	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
育成を目指す資質能力	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校生活の抱負の発表をする際に用いる英語の音声や文字、英語表現、文構造、言語の働きについての知識 ・中学校生活の抱負の発表をしたり、音声で慣れ親しんだ英語表現を書き写したりする基礎的な技能 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校のALTと親しくなるために、発表をしたい中学校生活の抱負に応じて、英語表現の選択・組合せをし、英語を用いて相手に分かりやすく自分の考えを伝える力 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語を用いて相手に伝わるように工夫しながら、中学校生活の抱負を伝えようしたり、反応や質問をしながら聞こうとしたりする態度
子どもの実態	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに、"doctor", "science"などの英語表現を用いて、将来就きたい職業や勉強したい教科を英語の音声で発表をできるようになってきている。 ・中学校生活の抱負の発表をする際に用いる、学校行事の名詞や不定詞の名詞的用法"want to"+動詞の原形、副詞"hard"の語順などの文構造の理解は不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表をしたい内容に応じて、"I want to be a /study～."の英語表現の選択・組合せをし、将来就きたい職業や勉強したい教科を伝えられるようになってきている。 ・中学校生活の抱負の発表をすることにより、したいことやその理由に応じて、動詞や名詞、既習の英語表現の選択・組合せをする必要があるため、伝えることに困難を感じる子どもが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに、英語を用いて相手に伝わるように工夫しながら、将来就きたい職業や勉強したい教科を発表しようとしてきている。 ・聞き手として、話し手とのよい関わり方について考える機会が少ないために、質問をしたり、話し手の考えを聞いて分かったりすることの楽しさに気付いていない子どもが多い。
価値	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業を2ヶ月後に控え、中学校生活が近付いてきているため、中学校生活の抱負について思いをもてる。また、多くの子どもにとって、中学校で関わることになる、ALTの先生に、中学校生活の抱負の発表をすることにより、自分のことをもっと知ってほしいという思いを高めるのに適している。さらに、ALTの先生からの自己紹介や「みんなの抱負の発表を楽しみにしている」という内容の動画を視聴することにより、さらに自分の考えを分かりやすく発表をしたいという思いを高められる。 ・ALTの音声動画を視聴することにより、ALTが話す学校行事やしたいことを表す英語表現を繰り返し聞いて発音するため、英語の音声で伝えることができる。 ・英語表現を書き写すことにより、"I want to ~.", "I'm good at ~."や、"It's ~."などの文構造の理解を深められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校生活の抱負の発表をすることにより、"I want to ~.", "I'm good at ~."や、"It's ~."などの英語表現の選択・組合せをして伝える力を高められる。 ・伝えたい中学校生活の抱負に応じてグループや学級全体で英語表現について話し合うことにより、友達同士で質問や助言をし合えるため、英語表現の選択・組合せができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Enjoy Communication Sheetを用いて、英語を学ぶよさや、よいコミュニケーションについて話し合うことにより、聞き手としてのよい関わり方について考えられる。 ・毎時間、Try Sheetを用いて、聞き手として友達のことについて分かったことや楽しかったことの振り返りをするにより、聞き手としてのコミュニケーションを図る楽しさに気付く。
見方・考え方	英語やその背景にある文化を捉え、中学校のALTと親しくなるというコミュニケーションを図る目的、中学校生活の抱負とその理由の発表をするという場面、状況及び相手の反応に応じて、英語表現や伝え方の選択・組合せをすること。		
今後の学習	中学2年「Work Experience」において、"I want to go to ~. I want to go there to study ~."等の不定詞の名詞的用法や副詞的用法の英語表現を用いて、職場体験に行きたい場所やそこで学びたいこと、学びたい理由などの発表をする学習へと発展していく。		

指導と評価の計画

目標	中学校のALTと親しくなるために、相手に伝わるように工夫しながら、中学校生活の抱負の発表をすることを楽しむことができる。			
評価規準	(①知・技) 学校行事やしたいことを表す英語表現について理解している。 学校行事を表す英語表現を英語の音声で発音したり、したいことを表す英語表現を英語の語順で書き写したりしている。 (②思・判・表) 英語表現の選択・組合せをし、中学校生活の抱負の発表をしたり、書き写したりしている。 (③主体的態度) 友達や中学校のALTに伝わるように工夫しながら、英語表現を用いて中学校生活の抱負の発表をしようとしている。			
言語事項	My name is ~. I'm ~. I like ~. My favorite ~ is ~. I can ~. I ~ everyday/on weekends. ~ is my brother/sister. I want to /study ~ hard./join the ~ club/sports day/culture festival/ball games tournament/. I want to be a ~. I'm good at ~. It's ~.			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	
つかむ	I	○英語を学ぶよさや、よいコミュニケーションについて話し合う。	○英語を学ぶよさや、よいコミュニケーションについての考えをより多くもつことができるように、Enjoy Communication Sheetを用いてグループ内で話し合う機会を設定する。	◇聞き手が質問や反応をし、話し手がより分かりやすく伝えられるようにするといった、英語を学ぶよさや、よいコミュニケーションについて発言したり記述したりしている。 <発言・共有ノート③>
	I	○ALTの先生からの自己紹介や中学校生活の抱負を知りたいという要望を伝える動画を視聴し、試しの活動を通して単元全体の課題(Unit Goal)をつかむ。 Unit Goal ケアン先生と親しくなるために、中学校生活の抱負を分かりやすく伝えることを楽しもう	○伝えられるようになりたい内容やできるようになりたいことをもてるように、体育祭や文化祭、球技大会などの画像を用いて、グループ内で発表をし合う試しの活動を設定する。	◇ALTの先生と親しくなるために、英語で伝えられるようになりたい内容や分かりやすく発表をしたいといった、できるようになりたいことを発言したり記述したりしている。 <発言・Try Sheet③>
追究する	I	○"I'm ~." "I like ~." "~is my brother/sister."などの英語表現を用いて、自己紹介をする。	○英語表現の選択・組合せをするための情報を得られるように、自己紹介に関する英語表現をまとめた表を用意する。	◇伝えたい内容に合わせて英語表現の選択・組合せをし、自己紹介をしている。 <行動②>
	I	○学校行事を表す英語表現や"I want to ~."を用いて、中学校生活の抱負を伝える。	○学校行事やしたいことを表す英語表現の英語の音声を繰り返し聞いたり発音したりできるように、ALTの音声動画をを用意する。	◇学校行事やしたいことを表す英語表現を英語の音声で発音している。 <行動①>
	I	○"I want to be a ~." "I'm good at ~." "It's ~."などの英語表現を用いて、中学校生活の抱負の理由を伝える。(本時)	○伝えたい中学校生活の抱負の理由に応じて英語表現を用いることができるように、グループや学級全体で英語表現について話し合う機会を設定する。	◇したいことや得意なことなどの英語表現の選択・組合せをし、中学校生活の抱負の理由を伝えている。 <行動②>
	I	○"I'm ~." "I like ~." "I want to ~."などの英語表現を用いて、自己紹介や中学校生活の抱負とその理由を伝える。	○より多くの相手と伝え合い、自己紹介や中学校生活の抱負とその理由を伝える英語表現を改善するきっかけを得られるように、学級全体で相手を替えて繰り返し伝え合う機会を設定する。	◇質問をされた内容の英語表現を加え、自己紹介や中学校生活の抱負とその理由を伝えている。 <行動②>
まとめる	I	○自己紹介や中学校生活の抱負とその理由を伝える英語表現を書き写す。	○自己紹介や中学校生活の抱負とその理由を伝える英語表現を書き写せるように、四線入りの学習プリントと英語表現の見本を用意する。	◇伝えたい自己紹介や中学校生活の抱負とその理由に合わせて、英語表現の選択・組合せをし、英語の語順で書き写している。 <学習プリント①②>
	I	○ALTの先生に自己紹介や中学校生活の抱負とその理由の発表をする。	○自己紹介や中学校生活の抱負とその理由の発表をする伝え方の改善ができるように、発表前にグループ内で伝え合う機会を設定する。	◇英語の音声や語順、聞き取りやすい声の大きさや速さで自己紹介や中学校生活の抱負の発表をしている。 <行動①②③>

本時の学習（5／8時間目）

ねらい 分からなかった英語表現についてグループ内や学級全体で話し合い、相手を替えて繰り返し伝えることを通して、したいことや得意なことなどの英語表現の選択・組合せをし、中学校生活の抱負の理由を伝えることができる。

評価項目 したいことや得意なことなどの英語表現の選択・組合せをし、中学校生活の抱負の理由を伝えている。

<行動②>

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育祭に参加したいと伝えるときは、"I want to join the sports festival."と伝えるのだったな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校のALTの先生に自分のことを伝えてもっと親しくなれるように今日は、中学校生活の抱負の理由を伝えられるようになりたいな。 (目的意識) </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校行事を表す英語表現の英語の音声を想起できるように、大型モニターを用いて英語表現を提示し、ALTの後に続いて発音するよう促す。 ○ 中学校のALTの先生に中学校生活の抱負について分かりやすく伝えるという目標を想起できるように、Unit Goalの内容を問いかける。 ○ したいことや得意なことなどの英語表現の選択・組合せをし、中学校生活の抱負の理由を伝えるという本時の見通しをもてるように、ALTとJTEがモデルを演示し、前時と比較して加わった情報を問いかける。
<p>めあて：中学校生活の抱負の理由を伝えられるようになろう</p>	
<p>2 中学校生活の抱負を伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校のALTの先生に体育祭に参加したい理由が伝わるように、走るのが得意と伝えたいな。"I'm good at run."と伝えてみよう。「リレーで勝ちたい」って言いたいな。でも、何と言えればいいのかな。 ・ 友達から"I'm good at run."ではなく、"I'm good at running."だと教えてもらえたよ。「勝ちたい」は、"I want to win."だけど「リレーで」って言うのはどう言えればいいか分からないな。 ・ なるほどね。"I want to win a relay race."と言えればいいのだな。次は、伝えられそうだな。 ・ 友達が、"Nice!"と笑顔で言ってくれたよ。体育祭に参加したい理由がしっかりと伝わったみたいだな。 ・ 友達は、社会科の勉強をがんばりたい理由として、「社会科のテストで100点を取りたいから」と伝えたいのだな。100は、英語で"one hundred"だけど、どう言えればいいか分からないな。 ・ なるほど。"I want to get a perfect score on my test."と言えればいいのだな。100点は、満点だから、"perfect score"と言うのだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ したいことや得意なことなどを伝える際に必要な既習の英語表現の発音を想起できるように、英語表現を問いかける。 ○ 英語で伝えられない考えや気持ちに気付けるように、ペアで中学校生活の抱負の理由を伝え合うよう促す。 ○ 友達同士で伝えられなかった英語表現を助言し合えるように、グループで知りたい英語表現について、タブレット上の共有ノートに記録しながら、話し合うよう促す。 ○ グループで分からなかった英語表現を明らかにできるように、学級全体で、大型モニターを用いて共有ノートを提示し、グループで分からなかった英語表現を問いかける。 ○ 中学校生活の抱負の理由を英語で伝えられるように、グループの友達と伝え合ったり、必要に応じてALTの音声動画を見ながら発音したりするよう促す。 ○ したいことや得意なことなどの複数の情報を加えることで、中学校生活の抱負の理由が詳しくなることに気付けるように、複数の理由を伝えている子どものモデルを紹介し、内容を問いかける。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育祭に参加したい理由として、「走るのが得意だ」ということと、「リレーで勝ちたい」ということを伝えられるようになったな。 (目的を達成した意識) </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話し合いを通して分かった英語表現を用いて、中学校生活の抱負の理由を伝えられるように、相手を替えて繰り返し伝え合うよう促す。 ○ 中学校生活の抱負の理由を伝える英語表現に自信をもてるように、したいことや得意なことなどを加えて伝えている子どもを称賛する。
<p>3 本時の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達は、「社会科のテストで100点をとりたいたから、勉強をがんばりたい」ということが分かったよ。初めて知って楽しかったな。 ・ 次回は、自己紹介を含めて中学校生活の抱負を詳しく伝えられるようになりたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 伝えられた中学校生活の抱負の理由や聞き手としての成果や改善点に気付けるように、「できるようになったこと・もっと必要なこと」「友達のことので分かったこと」を視点として、Try Sheetに記述するよう促す。 ○ 次時の学習で、より多くの友達に、自己紹介を含めて中学校生活の抱負を伝えるという見通しをもてるように、次時に取り組むことを問いかける。